


生きる力の育成など

花いっぱいの学校づくり

川中中学校 PTA

PTA名称	下関市立川中中学校PTA	学校写真 
所在地	下関市伊倉新町四丁目6番1号	
学校地域の概要・組織	<p>下関市街地の北西部に位置し、西に響灘を望む風光明媚の地である。また、新幹線「新下関駅」、JR山陰本線「綾羅木駅」へは車で5分、国道191号線や県道34号線も近くを走っており、交通は便利である。平成22年4月に現在の新校舎へ移転した。近隣には大型商業施設や金融機関等もあり、商業地域の中心に位置している。川中地区は、綾羅木川によって形成された肥沃な平野地で、市内有数の近郊野菜の栽培地として有名であった。近年は、都市化が進み、下関市の中心的な市街地となり、マンションや住宅が増え人口が増加している。</p> <p>生徒の心の安定と地域との結びつきを深めることにより、生徒に地域の一員の自覚を深めるとともに、愛更心を育むために、昨年度から特に地域連携教育に力を入れている。その中で、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きして、生徒たちに話をさせていただいた。その結果、これまでとは、見違えるほどの花いっぱいの学校となり、生徒たちの心が安定し、学習環境が整いつつある。さらにPTA活動もバックアップして、生徒とともに学校内の緑化活動に取り組んでいる。</p>	
研究テーマ	「花いっぱいの学校づくり」をテーマに掲げ、学校、地域、PTA活動が相互に連携し、生徒の心の安定と学習環境を整える。	
成果と課題	<p>今年度もこれまでに引き続き、生徒や地域とともに学習環境を整えるために「花いっぱいの学校づくり」をめざしてきた。自動散水装置を設置することにより、効果的に学校花壇の管理をすることができ、常に花いっぱいの学校を保つことができ、生徒たちの心の安定を図ることができた。</p> <p>「花いっぱいの学校づくり」のために、校地内のたくさんの場所に花を植えているため、さらなる有効的な管理の方法を検討する必要がある。</p>	

活動内容	<p>4月から5月にかけて、一つ目は、正門から東門までの200mの花壇を50cm感覚に苗を植栽し「アジサイロード」を完成させた。併せて、ガウラ、アメリカナデシコ、フジバカマの苗を植栽し色とりどりの花壇にする。二つ目は、西門から南門までの50mの道ばたに、メキシカンブッシュユロードの苗を植栽した。</p> <p>6月から9月にかけて、一つ目は、校内中庭にローズマリーの苗300ポットを使って文字ないしは模様をつけた。その際、土壌改良を行い、植栽後、寒水石を載せた。併せて、大型のプランターを7個用意し、ゴーヤの苗を植栽してネットを張ってグリーンカーテンをつくった。二つ目は、グラウンド周りを「ヒマワリロード」を完成させた。植栽場所の土壌改良を行い、オレンジヒマワリの種500粒を生育した。三つ目に、グラウンドのネット側周辺を「コスモスロード」を完成させた。植栽場所の土壌改良を行い、コスモス播種5d1を用意する。四つ目に、正門から玄関まで、「チューリップロード」の跡地花壇とポピー跡地の花壇を土壌改良し、ポトマイム、ポーチュラカ、バーベナ、メランポディウム、千日紅などを植え付け、色とりどりの花でいっぱいにした。五つ目に、東門から柔剣道場までの花壇からポピーの種取りをした後、土壌改良を行い、コキアを植栽した。六つ目に、柔剣道場前の日本庭園には、クリーピングタイム、バーベナ、姫イワダレ草の苗を観賞用の石の周りに植栽した。</p> <p>これらの花を効率的に管理するために、7月から8月にかけて、地域の方に自動散水装置を設置していただいた。</p> <p>その後も正門付近の花壇を「チューリップロード」にするために、200個の球根を植栽した。</p>
------	---

<写真・資料>

